

はぴふる

「持続可能な社会」って
どんな社会？



女池こどもしゃいん食堂
OPENしました



ボラまち第6号みてね

も く じ

- ▶「持続可能な社会」ってどんな社会？ P. 2・3
- ▶こどものためのフリースペース P. 3
- ▶寄付金謝辞 P. 4
- ▶会員会費へのご協力のおねがい P. 4

No.43
2021.6

中央区
社協だより

こどものための
フリースペース

コワーキングスペース
使ってみない？

利用料 ドリンク Wi-Fi



ぜんぶ 0 円

※マナーを守ってね

ジュニアコワーキングスペース
開設時間：10時～19時（月・木・
祝日休み）、開設場所：はあふる
薬局古町ルフル店、設備：無料
ドリンクバー・無料図書・無料無
線LAN、事前申込：不要

中央区社協HPに
開催情報を掲載中！

▼詳細をcheck



そこで中央区社会福祉協議会
とはあつる薬局古町ルフル店
がコラボし、ジュニア向けのコ
ワーキングスペースを企画。薬
局内に開設することで、大人の
目が常にあるこどもたちだけで
も安心感がある。もちろん利用
料金はかからない。午後7時ま
で利用可能なので、勉強や習い
ごとまでの時間つぶし、友だち
のおしゃべりなど「こどもた
ちの居場所」のひとつとして気
軽に足を運んでほしい。

4月25日（日）、はあふる
薬局古町ルフル店に「ジュニア
コワーキングスペース」がOP
ENした。
「コワーキング」とは環境を
共有しながら別々の作業をする
ことを意味し、リモートワーク
が進み始めた今、コワーキング
スペースの存在が注目されてい
る。しかしこういったスペース
の多くは、中学生以下のこども
の利用は想定されておらず、利
用料金も設定されている。また、
コロナ禍で図書館などの学習ス
ペースは人数制限がかかるなど
こどもたちが使える場所は少な
くなってきている。

寄付金謝辞

善意のご寄付
誠にありがとうございます。

●新潟校区婦人会様

74,591円

会員会費へのご協力をお願い

中央区社会福祉協議会では、皆様からご支援いただく会
費を地域の福祉活動に活用しています。今年度も皆様の
ご協力をお願いします。



▲会費活用事業（見守り訪問事業）

中央区社協HPに
福祉活動を掲載中！

▼詳細をcheck



特別会費

対象 福祉施設・団体
目安 2,000円/口

賛助会費

対象 企業・団体
目安 5,000円/口
2,000円/口

一般会費

対象 自治会・町内会
目安 400円/世帯

※記載の金額はあくまで目安であり、強制するものではありません。
ご無理のない範囲でご協力いただきますようお願いいたします。

社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
中央区社会福祉協議会

ちゅうおうくしゃかいふくしきょうぎかい

〒951-8062 新潟市中央区西堀前通6番町909番地C o - C - G.（コシジ）3階
MAIL chuouku@syakyo-niigatacity.or.jp
TEL 025-210-8720 FAX 025-210-8722

編集・発行

お車でお越しの場合は
市営西堀地下駐車場を
ご利用ください

ホームページでも
最新情報を更新中です



「持続可能な社会」ってどんな社会？

— Vol. 1

中央区社会福祉協議会の
SDGsな取組み

▼1DAYインターンシップ



SDGsってなに？

地球は今この瞬間も貧困や紛争、感染症など多くの危機に直面しており、このままでは地球で人間が安定した生活ができなくなる心配がでてる。そこで世界中の様々な人々が話し合い、2030年まで達成すべき具体的な国際目標をつくった。それが「SDGs (Sustainable Development Goals)」と呼ばれるものである。読み方は「エスディー・ジーズ」。これを日本語にすると「持続可能な開発目標」という意味になる。SDGsは17のゴールと169のターゲットから構成されていて、発展途上国だけでなく、先進国でも取り組むものとされている。近年日本でも積極的な取組みが始まっている。

ホームページに
当日の様子を掲載！



高校生・大学生を対象に1DAYインターンシップを開催。中央区社会福祉協議会の職員とのトークや事務所内の見学などを行う。福祉の学校に通う学生だけでなく、ボランティアに興味のある学生、就職先を検討中の学生など幅広く歓迎。前回開催時は高校生・大学生の参加があり、福祉の資格や中央区社会福祉協議会の取組みなどについてざっくりばらんなトークで盛り上がった。現場を知ってもらう機会として今後も開催予定。私服で気軽に参加OK。地域の様々な仕事をし、自身の可能性をさらに広げることができる。

ホームページに
助成の手引きを掲載！



▼緊急情報キット配布事業
緊急情報キットとは緊急時にかけつけた救急隊が、緊急連絡先や自身の健康状態等の情報を把握できるようあらかじめ容器に入れて冷蔵庫に保管しておくためのもの。この緊急情報キットを活用することで、ひとり暮らしの高齢者などへの迅速かつ適切な医療の提供、また身近な見守り活動につながることを目的とした事業である。この事業に取り組む自治会・町内会やコミュニティ協議会などを対象として中央区社会福祉協議会から事業費助成をおこなっている。緊急情報キットは実施団体で独自に作製するほか、中央区社会福祉協議会で作製しているものを購入することも可能。

ホームページに
事業情報を掲載！



▼居場所づくりのサポート

地域に暮らす様々な方々の居場所づくりをサポート。自治会・町内会やボランティアグループなどを対象として地域の茶の間や子育てサロン、の立ち上げ・運営相談や事業費助成をおこなっている。今年度より新たに子どもの居場所づくりへの支援を開始。立ち上げ経験がなくても無理のない運営のかたちを0から一緒に考える。「地域にこんな場所があったらいいのにな」から、安心して住み続けられるまちをカタチにしていこう。

▼寄付の受け入れ

中央区社会福祉協議会では、新潟市社会福祉協議会あての寄付の他、様々な団体への寄付を受け付けている。募金や食べ物、入れ歯、中学校の制服などすべて中央区社会福祉協議会事務所に寄付可能（持参のみ）。お金やたばこのなどの資源が必要な方々のもとへ届くよう責任をもって保管、団体へお渡ししている。

はびふる第42号に
寄付のあれこれ掲載！



だれかとSDGsについて話す

テレビや雑誌、有名人・キャラクターなどの情報発信により、「SDGs」の認知度は高まってきた。一人ひとりのSDGsな取組みは地球規模でみると大きなものではないかもしれない。しかしながら、地球規模の影響をもたらすのはたった一人の歩の積み重ねである。今あなたがこれを読み、この後だれかに「SDGsって知ってる？」と話す。これが地球を守る大きな力になる。難しいことを語ろうとしなくても大丈夫。あなたの言葉でSDGsへの関心を0.1に変えること、それこそがなによりも意味のあることである。

「SDGs」
(Sustainable Development Goals)
最近「SDGs」が
聞かれています
（Habi Fur）

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



▲SDGsのロゴと17の目標のアイコン（国際連合広報センターより）

サステイナブルファッションを楽しむ

ファッション業界でも、近年サステイナブル（持続可能）なファッションを提案するブランドが増加。以前のサステイナブルファッションの垢抜けないイメージから大きな変貌を遂げている。動物の皮や毛を使わない服、再生利用可能な素材を使用したアクセサリーを使用することは、自然環境や社会への大きな配慮となる。また、服のレンタルサービスを利用したり、古着を楽しむのも無理のないSDGsな取組みの一つと言える。



▲今サステイナブルファッションが熱い。「#SDGs」で検索してみてもいい。

「100のくせに」をやめる

多くの人が一度は言ったこと・聞いたことのある言葉、「100のくせに」。それは「女のくせに」「だつたり」「男のくせに」「だつたり」「よそののくせに」「だつたりする。しかしその固定概念の押し付けはもはや完全に時代遅れ。この言葉を口にしうとしてしまったとき、「あー」と気付いて飲み込んでほしい。これは今を生きる私たちにとって必要不可欠な気持ちである。こどもも大人もみな同じ。世界の標準はダイバーシティ＆インクルージョン（多様性＆受容）であることを忘れなく。



▲全く同じ人はいないし、同じである必要もない。だから個性が活きてくる

わたしにも、
あなたにも、
きっとできる。



中央区社協もみなさんと一緒に
SDGsに取り組みます